

湘南にのみや 議会だより



3月定例会(2/26~3/22)

- ◆町長施政方針に対する総括質疑… 2～3
- ◆平成28年度予算審査/討論 …… 4～5
- ◆議会で決まったこと…………… 6～8
- ◆一般質問に4名が登壇…………… 9～11

はじめましてニーノとミーヤ!

△二宮町プロモーション動画で考案されたオリジナルキャラクターのニーノとミーヤ。

(詳しくは12ページへ)

**結婚・出産・子育ての希望を叶え
子育てを楽しめる環境をつくる**

- 妊婦検診補助の総額を6万2千円から7万7千円に拡充
- 駅前に民間の保育施設開園
- 土曜日の学童保育通年実施

**二宮町で安心して働き、仕事を
生み出しやすい環境をつくる**

- 温暖化対策検討委員会を設置し、再生可能エネルギーの地産地消などを検討
- 商工会と連携し、起業支援や町内の雇用創出に取り組む

二宮町総合戦略

安心な暮らしを守り住み続けられる地域をつくる

- 健康づくり課設置
- 子どもから大人まで食育、健康づくり、未病改善事業を推進

**二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し
新しい人の流れをつくる**

- 「にのみやLife」の全国展開シティプロモーション事業
- 空き家バンクで空き家活用。
- コミュニティスクール、小中一貫教育、学区のあり方について検討
- 教員と地域を対象に「にのみや子どもはぐくみ塾」開催

総合計画と総合戦略を網羅した平成28年度の予算編成

**どう変わる？
二宮町の今と未来**

予算編成の見える化、補助金見直し、
広域行政等で「町民力を生かした地域活性化と健全な財政の町」を目指して…

**生活の質の向上と
定住人口の確保**

- 地域福祉計画策定

**交通環境と
防災対策の向上**

- 防災マップ改訂

**第5次
総合計画**

**環境と風景が
息づくまちづくり**

- 開発事業に関する条例制定推進
- オリーブ事業推進

戦略的行政運営

- 機構改革
- 人事評価制度確立、職員研修
- 消防指令業務広域・共同化運用
- 団体補助金の見直し

予 算 総 括 質 疑



野地 洋正 議員

**健康・子育て支援重視！
公共施設再配置計画は？**

健康・子育てへシフト

Q 財政ゼロからの見直しは2億円の減となったがポイントはどこか。

A 総合計画、総合戦略に基づき、子どもから大人までの一貫した健康づくり、子育て支援による定住化促進、社会保障費へシフト。事業規模は例年並みと考える。

機構改革でスリム化

Q 機構改革によるメリツトは。全職員への方針の周知徹底はできるか。

A 組織体制の強化、持続可能な財政の確立、多様な主体との協働を掲げる第4次行政改革大綱基本方針に基づき実施。横断的な課題解決、意思決定の迅速化、将来的な人件費の削減を図る。地域包括ケアシステム構築に向け担当課も新設。方針の周知徹底は、規定に基づく会議、ミーティングを確実に実施し共有する。

各種補助金を見直す

Q 地区への交付金、各種

団体補助金の見直しは。また、その算出基準は。

A 町民活動推進補助金については運用を見直した。団体補助金は申請内容を精査し決めている。今年度は補助金交付規則の改正作業を進め、算出基準等、より公平で透明性のある制度に努める。

報酬、報償費は現状維持

Q 各種委員会の委員報酬、報償費は見直しはないか。

A 平成28年度に開催される委員会のみ計上した。今後は内容の精査に努めるとともに、その成果についてもさらに示していく。

再配置計画スタート

Q 町有未利用地、公共施設再配置計画のタイムスケジュールは。

A 「公共施設再配置・町有地活用等検討委員会」を立ち上げた。平成28年度は現状調査、短中長期計画を示し、平成29年度には初期10年間の実施計画を示す。ワークショップ等開催し、町民意見も伺う。



露木 佳代 議員

予算編成過程の透明化、補助金の見直しを進めよ

予算編成の透明化は？

Q 予算編成過程の透明化をどこまで目指すのか。市民の声をどう予算に反映するのか。

A 議会からの要望、地区要望、陳情、町への提案、ホームページからの問い合わせ、町民相談、移動町長室などから精査し反映する。28年度の予算編成過程の公開は最初の一步であり、各課要求額と歳入の乖離を見てもらえた。まずは現状をご理解いただき、町民、議会、行政の役割、民主主義のあり方も含め、研究し透明化の次の段階に進みたい。

補助金見直しの方向性

Q 決まった方式・書式や査定基準がない団体補助金の見直しは。町の審査でなく公募による町民活動推進補助金と同じテーブルで審査できないか。

A 施政方針及び第4次行政改革大綱で見直しを掲げており、平成29年度予算で一定の成果を見込む。具体的な内容は検討中だが、例

えば申請書類の様式を定め、公表を前提にし、透明性の向上を図ること、町事業との関わりを勘案し補助金ではなく委託とするなど、柔軟な発想に基づく見直しが必要。28年度詰めていく。

コミュニティスクール化

Q 保護者や地域との意見交換はしないのか。現時点の小・中学校の将来像と学区編成については。

A コミュニティスクール化により学びや体験活動が充実し大人たちとつながって安心・安全な地域社会での生活ができることなどを期待。今年度、教育委員会と小・中5校で検討会を設け、基礎資料を作成する計画。それを基に意見交換し、みんなで考えていくのが最善。学校はコミュニティの核で、地域になくなくてはならないものと考え。通学区は現状で良いとは思っていないが、今すぐ変更する考えはない。



根岸 ゆき子 議員

施策と地域と行政がつながるまちづくりをするために

平成28年度の特徴は？

Q 施政方針は総合戦略・計画を忠実に再現しているが力の入れどころは。

A いずれも、中長期的課題。総合計画、総合戦略に基づき、子どもから大人までの一貫した健康づくり、子育て支援による定住化促進、社会保障費に重点をおいた。新たな課を設置し取り組む。健康づくり課と地域包括ケアシステム課は誰もが安心して生き生きと暮らせる環境作り。地域政策課は地域コミュニティの助成・支援。交付金の活用で

は公共施設マネジメントや(仮称)一色小学校区地域再生協議会への参画、「にのみやLife」の提案と発信に取り組む。事業規模は例年並み。

協議会への人材

Q 一色小学校区では福祉、学校、地域活性化分野で協議会・協議体を設置する。役割の担い手が重なり人材不足の懸念はないか。

A 地域再生協議会では新

たに近隣大学の力も借りる。役割が重ならない形で、すでにある主体の活動に沿って始動するのが重要。

Q 協議会ごとに関わる町担当課は違うが地域の人材は重なる。庁内で課を超えた横断PJチームを設置し地域づくりの充実を望むが。

A 設置予定はないが各種会議で確認と共有をする体制作りをしつかり行う。

Q 4月から施行する障害者差別解消法の観点からも役場内と地域の取り組み体制を構築してほしい。

A 職員対応要領の周知と研修を行う。今後取り組みを通して障害者だけでなく、住む人が豊かになるという認識。

Q 学校現場でもサポート体制は浸透していくか。

A インクルーシブな活動を通して、施策と地域社会、学校を結びつけることを一歩ずつ粘り強くやるのが肝要。コミュニティスクール導入をあらゆる人が地域づくりに参加するきっかけにした。



一見 泰弘 議員

財政・広域行政・定住促進について問う

財政について

Q 町の中長期的な財政はどのように感じたか、また予算編成方針で、全ての事業のゼロからの予算見直しと、身の丈にあった徹底した合理化策を講じるとのことだが、どのように行ったか。

A 当初予算案の中で、中長期的視点に立ち、未利用地の活用、公共施設の再配置計画の推進を図り、町債を可能な限り抑制し、残高の削減を図った。将来に備え、基金からの繰り入れも抑制し、基金残高の増加に努めた。また将来にわたる人件費の伸びを抑制する取り組みなど、現状を踏まえた改革を行い、ゼロから全事業を検証し、身の丈にあった合理化策を講じた。

広域行政について

Q 将来の町財政を考えると、消防、ラヂアオン、図書館、温水プールなど財政的に非常に重荷になる。将来を見据えて広域行政で運営できないか。

A 今後、広域で文化施設やスポーツ施設を整備したり、運営をする場合、お互いに持っていない機能を補完することになる。整備費や運営・維持管理に係る新たな負担が発生するが、負担のあり方など協議をしながら、広域の枠組みの中でスケールメリットを生かし、近隣自治体との連携について模索していきたい。

定住促進について

Q この町を知っていたらき、来ていただき、住んでいただくためには、首都圏にターゲットを絞り、もっとアピールしていく必要があるとされているが、具体的な対策、アピールは。

A 新聞等に取り上げられやすい内容方法などを取り入れ、動画やアニメーションキャラクターを活用し、「にのみやLife」のイメージを確立する。

他に、湘南ライナー二宮駅停車の運動。空き家バンク・DIY住宅の促進を質問。

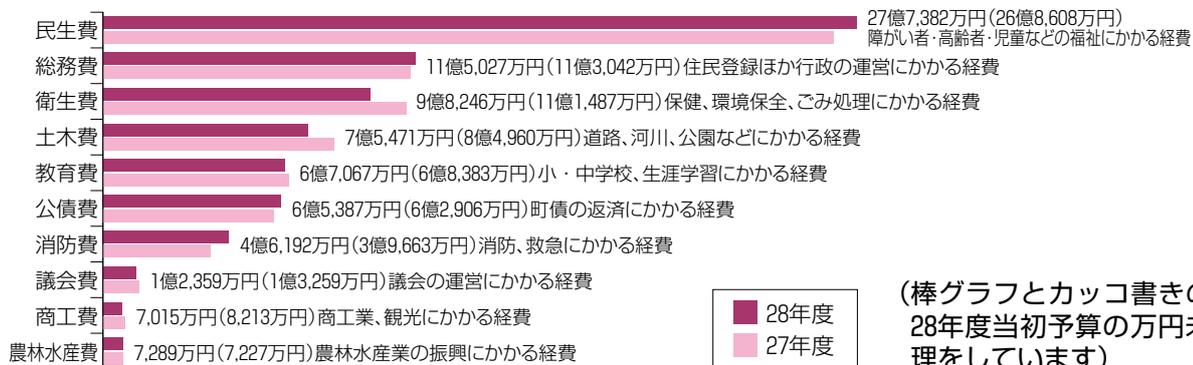
優先順位を精査した慎重な予算 今後は町長の明確なビジョンを期待

平成28年度各会計当初予算金額と本会議採択結果

会計名	予算額	前年度比較	採択結果	
一般会計	77億3,000万円	0.7%減	12対1で可決	
特別会計	国民健康保険	36億3,161万5千円	4.9%減	全員賛成で可決
	後期高齢者医療	7億9,608万円	2.5%増	12対1で可決
	介護保険	24億 105万円	4.2%増	全員賛成で可決
	下水道事業	9億5,360万6千円	7.5%減	12対1で可決
総 額	155億1,235万1千円	1.3%減		



3月10日から17日にかけて
予算審査特別委員会が開催された



(棒グラフとカッコ書きの金額は平成28年度当初予算の万円未満の端数処理をしています)

審査意見とは…？

町が今後、施策・事業策定をする際に検討事項にするよう意見するもの。

7名の委員からなる予算審査特別委員会で5日間審査を行った。平成28年度は村田町長が最初から手掛ける予算編成であり「住んで良かった！を体感できる町づくり」に取り組み決意が示された。予算は前年度と比較し1・3%減(▲2億609万円)の155億1235万1千円。特別会計の後期高齢者、介護保険は増加。一般会計、特別会計の国民健康保険、下水道事業は減額で福祉に厚い予算になった。

審査に先立ち、平成29年4月から1市2町で消防指令業務を共同運用する平塚消防署の指令室と、今月開園した0〜2歳を預かる、みちる愛児園分園ナーサリー(旧ITふれあい館)を視察した。

審 査 意 見

4 障害者差別解消法施行に伴い、町事業及び各施設において、合理的配慮がなされるよう努められたい。

3 町民力を活かした健康づくり事業の展開を図られたい。

2 地域福祉計画の策定と、地域包括ケアシステムの総合事業の実施については、遅滞なく進められたい。

1 地域再生事業は、計画的に持続可能な事業となるよう努められたい。

8 下水道事業は、生活環境課と連携して施策を講じ、積極的に接続率向上を図られたい。

7 予算策定過程は、さらなる「見える化」に向け、改善されたい。

6 道路白書と道路維持管理計画を作成し、適正な整備に努められたい。

5 学童保育は、利用者の需要に沿うよう、あり方について研究・実現されたい。

賛成

人件費削減、大胆な施設休止、子育て支援の充実を評価

小笠原 陶子 議員

町は高度成長長期に住宅地として
発展し、公共施設を増やし事業も
拡大してきた。今は経済が右肩下
がりて住民も減少。評価する点は
事業規模の縮小や廃止を決断した
こと。

私が以前から提言していたふた
み記念館の休館日を増やして人件
費を節約した点、やむを得ず町民
サービスマンも同様に休館日を
増やした点を評価する。無理を続
けて施設の廃止が近づくより、延
命策を講じて持続可能な仕組みを
構築すべき。

費用対効果の面で議会から袖が
浦プールの利用率向上策と改善さ
れない場合の廃止を求めていた
が、思い切って休止に踏み切った。
歴史もあり、休止は残念だが、天候
に左右されない水泳の授業のため、
温水プールの活用は賢明な策だ。

役場は機構改革をし、地域づくり
を行う地域政策課と地域包括ケア
システム担当を設置。地域課題解
決のために地域住民の協力が必要
で、計画づくりから実施まで情報
開示が重要。町民と十分情報交換
し進めよ。職員の能力が適材適所
で十分発揮される人事を望む。

子育て支援では駅前民間保育園
の開園、保育園と栄通りサロンで
の一時預かりの充実、学童保育の
拡充を評価。学童保育は快適に過
ごせる環境づくりに、引き続き努
力を求む。

なぜ賛成・反対

予算に対する賛否理由を 討論で表明

賛成

健康づくり・子育て支援は評価
継続的見直しが必要

野地 洋正 議員

町税など自主財源が減
少し、福祉等扶助費が増
大する中、子どもから高
齢者までの健康づくり・
未病改善運動事業、定住
促進事業、社会保障費確
保など、総合計画・総合
戦略にのっとり工夫がみ
られ評価し、施政方針が
数字に現わされたとして
賛成。今後も継続的見直
しを図ることを求む。

機構改革は、横断的な
課題解決、意思決定の迅
速化、労働環境の改善、
ワンストップサービスへ
の意識、健康づくり課、
地域包括ケアシステム担
当を新設するなど、長期
的改善を図るとともに、
直近の課題への取り組み
も見られ期待する。

安心して住み続けられ
る地域再生事業、公共施
設再配置計画の本格開始
や、モデルとなる一色小
学校の地域活性化・再
生事業は、ともに「報・
連・相」が肝要。迅速、
丁寧、正直に町民と情報
を共有し進めること。図
書館は人口減少の中、過
度の財政的な負担がかか
らぬよう配慮を求む。

小学校6年生の野外研
修は、文化、歴史、伝統の
ある他に類を見ない評価
の高い事業であり、目的、
効果を改めて検証し次年
度に繋げる。袖が浦
プールは、利用者や地域
に説明もなく突然休止と
なる。今後、公共施設再
配置計画の検討で十分な
議論を尽くすこと。

反対

行革と特別会計の独立を前面
に出す予算案は町民生活への
影響が大きく反対

渡辺 訓任 議員

一般会計予算案には、
給料表の級数削減やサー
ビスプラザの休館日増加
等、行革によるしわ寄せ
を町民・町職員に及ぼす
内容がある。財政的に特
別会計への繰り出しゼロ
を強調するという姿勢は
「安心な暮らしを守り、
住み続けられる地域を作
る」「二宮町で安心して
働き、仕事を生み出しや
すい環境をつくる」とし
た基本目標とも相いれな
い。将来の町民生活への
大きな影響を懸念し反対。

町独自の小児医療費・
ひとり親家庭への助成、
保育園の待機児童解消な
ど、わが町が果たした先駆
的な役割を評価する。引
続き保育所の潜在待機児
の把握と対応、介護人材
の育成と確保、町の経済
に重要な住宅リフォーム
制度の継続等を要望する。

国民健康保険および介
護保険の両特別会計予算
案については、運営方針
に問題は無く賛成。

後期高齢者医療特別会
計は、高齢者に差別的な
制度である以上に、各健
康保険組合に大きな財政
的負担を与える。制度的
にも予算案にも反対。

下水道事業特別会計予
算案は、使用料引き上げ
を前提としており、使用
料引き上げは国支出金が
反映されていない事と不
明水・雨水の扱いが不明
瞭なこと、子育て世帯に
対する配慮が不十分とい
うことで反対する。

情陳からの皆さま

精神障害者の交通運賃割引制度適用を求める意見書採択についての陳情 5対8で不採択

【内容】精神障害は公共交通安全割引制度から長い間除外されてきた。同居家族は高齢化で経済的困難に直面している。引きこもりの要因になり、障害者権利条約に反する。障害者差別解消法も施行されるなか不合理。国に意見書の提出を求める。

【討論】(根岸)精神障害に枠を広げる検証を進め社会全体の人権意識を高めたい。(野地)精神障害者への支援は治療が前提。認定が難しく身体・知的障害とは異なる。

国に対して消費税増税を中止する意見書の提出を求める陳情書

2対11で不採択

【陳情内容】消費税は最も逆進性の高い租税で低所得の労働者の生活を直撃。地方財政に重大な否定的影響を及ぼすため国に意見書の提出を求む。

【討論】(二見)社会保障給付費は毎年1兆円規模で増加。消費税増税分は年金、医療、介護、子育てに充てられる重要な財源。(露木)生活や消費への価値観の変化で今後消費税の増収は見込めない。現状の仕組みでは福祉にまわっているとは言えない。(渡辺)

今増税すれば町民の生活と町財政を破壊する。軽減課税は一部品目の据え置きに過ぎない。

二宮町墓地等の経営の許可等に関する条例の制定に関する陳情

全会一致で採択

【内容】「二宮町墓地等の経営の許可等に関する条例」の早期制定を要望。陳情事項は次のとおり。

(1) 宗教法人は町内に本堂や教会を構え、文化庁の宗教法人の管理運営指針にある宗教活動を町内で5年以上行っていること。(2) 墓地等の境界線と人家(住宅)との距離が最低でも100メートル以上であること。(3) 建設を前提にした協議前に近隣住民と十分協議をすること。

【審議概要】墓地条例制定にともなう町の業務負担について検証した上で、住民の福祉、権利を守る観点から町に適用した条例が必要とし採択。今後町は検討委員会を設ける。



住宅地に隣接する一色の墓地建設予定地

案提の議員議

国民健康保険療養費国庫負担金の調整(廃止)を求める意見書の提出について 3対10で否決

【提案内容】町は平成27年度の10月から通院の医療費助成を中学校卒業までとした。しかし医療費助成については窓口での支払いが不要な場合、国は国民健康保険の国庫負担金を減額調整している。政府が進める少子化対策と、国保に対する負担金の減額は矛盾する措置である。地方六団体も廃止を要求、国も検討を進める中、町議会としても廃止を要求すべし。

【討論】(渡辺)財政が厳しい中捻出した事業に対して国がペナルティを課すのはおかしい。国も検討を始めた今、意見書で後押ししたい。(露木)さまざまな立場から声をあげることが必要。(前田)政府も廃止検討を始めている。町はペナルティを承知で中学生まで拡充し廃止も要求。議会が意見書を出す必要はない。

活火山防災対策の強化を求める

意見書の提出について

全会一致で可決

【内容】箱根町では、大涌谷周辺における火山活動の活発化に伴う警戒区域の設定等により、住民生活および地域経済が大打撃を受けた。箱根町議会からの提案もあり、今後周辺自治体への影響も懸念されることから、二宮町議会は「情報発信の強化、警戒区域が設定された場合の損害補償、一元的なマニュアルの作成」を求める意見書を国へ提出した。

政治は生活

条例改正

特別職、期末手当の見直し 6対7で否決

人事院勧告により、一般職の勤勉手当が引き上げられたことから、特別職（町長、副町長、教育長）の期末手当を1000分の197・5から217・5に改めるもの。これにより期末手当は町長が約9万4千円、副町長が約7万9千円、教育長が7万3千円の増額。

【討論】（根岸・露木）町民サービス低下を受け入れざるを得ない中、町民の理解を得られない。（渡辺）報酬審議会の答申の趣旨を尊重すべし。（二石）岐路に立つ町の任期4年の要職であり、町長は町民の審査を受ける。マイナスのエールが集まりがちな環境にプラスのプレッシャーを与えたい。

葬祭費1万円アップ 12対1で可決

国民健康保険の被保険者が死亡した際に、葬祭を行う者に対し、現在4万円の葬祭費補助を5万円に引き上げる。

【討論】（露木）他市町村と同額にしてほしい制度は山ほどある。災害弔慰金や敬老祝金等が下げられる中で整合性がない。（野地）支給額は近隣市町と同額の標準的金額に是正され、全額国保会計から支出される。

下水道使用料値上げ 12対1で可決

下水道事業は下水道使用料と一般会計からの繰入金で賄われる。使用者と非使用者の不公平を是正することや、平成32年に償還のピークを迎えるため、見直しが必要なことから平均13・1%の値上げ改定案が出された。

【討論】（渡辺）事業に対する国の補助を考慮すべき。雨水・不明水の扱いが不明瞭。多く水を使用する子育て世代への配慮が不十分。（善波）公平性実現、独立採算制で事業の健全性を維持するため、応分の負担は必要。

補正で新事業

一色小学校区地域再生に約1200万円

国から100%支出される地方創生加速化交付金を使用し、一色小学校区をモデルとした地域再生事業に1200万円可決。母体となる地域協議会の構成と運営については、地区、県住宅公社や大学

国支出が終わった後の事業継続は？

予算は見積みベースであり、妥当性の検証が今後の課題。また全額が国支出のため交付金が終了したあと、事業をいかに継続するか課題が浮き彫りになった。

二宮町を全国へ発信！

本議会で承認された「全国展開プロモーション事業」の補正予算2千万円は、町の申請が不採択となり国からの交付金はなくなった。事業の趣旨は変えず、他の財源を確保した上で規模や内容を見直し実施していく旨の報告があった。

地方創生加速化交付金

公共施設再配置・町有地有効活用等の基本方針・基本計画の策定（公共施設再配置・町有地有効活用等検討支援業務委託料1,200万円、公共施設現況調査委託料500万円）	1,700万円
一色小学校区再生地域協議会支援負担金（地域協議会運営経費350万円、ふるさとの家整備費450万円、地域再生活活性化事業経費400万円）	1,200万円

各議員の議案・陳情に対する賛成・反対は？

		根岸ゆき子	前田憲一郎	桑原英俊	二宮節子	杉崎俊雄	善波宣雄	露木佳代	野地洋正	渡辺訓任	一石洋子	小笠原陶子	柳川駅司	二見泰弘	添田孝司	結果	
議員提出議案名 (左は議案番号)																	
1	国民健康保険療養費国庫負担金の調整(減額)廃止を求める意見書の提出について	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●	●	●	○	○	否決
2	活火山防災対策の強化を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 国に意見書提出
3	二宮町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	二宮町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出議案名 (左は議案番号)																	
1	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	二宮町部設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	二宮町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
4	二宮町個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
5	二宮町情報公開条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	二宮町行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7	二宮町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	二宮町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	二宮町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	二宮町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	二宮町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	二宮町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決
14	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15	二宮町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	二宮町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	二宮町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	二宮町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	二宮町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	二宮町敬老祝金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	二宮町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	二宮町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	二宮町小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	二宮町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25	二宮町公共下水道使用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	二宮町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	二宮町火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	行政不服審査会の事務の委託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	平成27年度二宮町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	平成27年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	平成27年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	平成27年度二宮町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
33	平成27年度二宮町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	平成28年度二宮町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	平成28年度二宮町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	平成28年度二宮町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
37	平成28年度二宮町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38	平成28年度二宮町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	平成27年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情名 (左は陳情番号)																	
1	平成28年度における「重度障害者医療費助成制度」継続についての陳情	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	不採択
2	平成28年度における「慢性腎臓病(CKD)及び生活習慣病対策」についての陳情	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
3	平成28年度における「療養介護施設における透析治療の在り方」についての陳情	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
4	精神障害者の交通運賃割引制度適用を求める意見書採択についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
5	国に対して消費税増税を中止する意見書の提出を求める陳情書	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
6	二宮町墓地等の経営の許可等に関する条例の制定に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※議案について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。
 ※陳情番号1～6については、○は採択、●が不採択です。 ※添田議長は審査に加わりません。

一般質問

一般質問は、大事な議員活動の一つである。二宮町は一問一答方式であり、2問目以降の質問は、制限時間内であれば何度でも自由にできる。そのやりとりにも注目してほしい。記事は本人の原稿に基づくもの。

	議員名	一般質問の内容		議員名	一般質問の内容
1	渡辺 訓任	①国民健康保険税の負担軽減を求める ②まちづくりのビジョンと団地中央について	3	小笠原陶子	①高齢者が暮らしやすい町にするために ②地域福祉計画について
2	二宮 節子	野良猫対策について	4	一石 洋子	二宮町子ども達に豊かな放課後を

平成27年12月議会の一般質問全文は、役場や図書館、HPで閲覧できます。

平成28年第1回定例会(3月議会)の一般質問全文については、5月中に公開予定です。

12月議会一般質問全文



12月9日



12月10日

Q 国民健康保険税の中で、資産割部分は、二重課税とも言われ、住むだけの家・土地にもかけられる不合理な課税であり、なくすことを求める。

A 安定した財源として、位置付けてきたが、平成23年に現在の8%まで減らした後、4年経過した。この先、国保運営協議会での協議になる。

Q 資産割の国保収入の中での割合、周りの自治体の状況はいかがか。

A 約2千万円で3%。資産割採用の自治体は減少している。

Q 均等割は19歳未満も一人あたり、年2万9千円となるか。

A そうだ。総額として町国保収入のうち約1900万円が相当する。

Q 子育て支援をつたい、中学校卒業まで医療費助

成を拡充しているが、国保世帯に対する均等割は負担を残すものである。19歳未満の均等割をなくすことを求める。

A 国の制度の問題もある。県でも未成年者への均等割を問題視しており、協議を見守っていく。

一色小学校区地域再生は住民の声をくみ上げて

Q (仮称)一色小学校区地域再生協議会の組織は。

A 地域活性化の各種町民の組織とともに方向付けをしていくものを想定している。

Q サービスプラザの木曜の休館は機能縮小となる。地域協議会の方向付けを待つて決定すべきでは。

A 休館日を増やし、人件費200万円を削減。利用者の意向を考え木曜



二宮町北部の生活拠点として重要な団地中央

の休館が適切と判断した。

Q コミバスの団地中央への延伸を求める。

A 平成28年度中に公共交通のあり方について提案をするよう作業中。

Q 土地利用法で掲げる、土地の公共の福祉優先と適切な利用をうたう条例制定が必要では。

A 現在、実効性を高める条例案を策定中。理念をうたう条例については、町民、議会とともに議論を進めていきたい。



渡辺 訓任
議員

問

国保税の負担軽減を
求める

答

資産割については国保運営
協議会の協議になる

二宮節子
議員



問

野良猫を増やさない
適正飼育の啓発と助成は

答

社会問題とは捉えず、
県の助成を期待する

問

買い物しやすい
環境維持のために啓発活動を

答

商工会・商店連合会、
大型店舗と一緒に考え話し合う

小笠原陶子
議員



Q 北里紫三郎博士の指針により、ねずみ駆除のため猫を家庭で飼い、昭和5年には、ペスト撲滅につなげた輝かしい歴史がある。現在は無責任な飼い主のもと放置され、野良猫となり迷惑をかけている被害を町は把握しているか。

A 平成25年度から現在まで18件が届けられていて、駆除要望や、むやみに餌を与えることへの苦情が主な内容。

Q 相談や苦情窓口の周知は。

A 適正飼育の啓発と共に広報紙を通じ、生活環境課が窓口であることを周知している。

Q 環境省は、ふん尿、鳴き声、屋内侵入、いたずら、田畑荒しなどを社会問題と捉えているが町の認識は。

A 町に課された重大問

題とは捉えていない。

Q 飼い猫にも内猫と外猫の飼い方があり、内猫は屋内のみで飼育され、近隣に迷惑をかけることがなく、外猫は不妊・去勢手術が実施されていないと、新たな野良猫を生み出す原因となる。適正飼育ガイドラインの作成を求め。

A 国の密集地飼育のガイドラインや、他市の内容精査し、今後研究する。

Q 地域猫について伺う。

A ボランティアが自費で餌やり、避妊、去勢手術を行っているのが現状だ。個々のかたの努力があることは認識している。地元住民の理解を得て、自治会で進めてゆくことが望ましい。野良猫を減らすということが、地域猫の目的である。

Q 終生飼育啓発となる



保護した子猫をボランティアが
自費で避妊・去勢している

愛猫カードは。

A 野良猫の減少効果、他自治体の普及状態を踏まえ、前向きに研究する。

Q 不妊・去勢手術に対する助成はいかがか。

A 現在1地区から要望があるが、要望地区が増えた段階で検討する。

Q 県がボランティア活動に助成を始めるが、町も助成はできないか。

A 県と連携し、地域の方を含めて、しっかりと取り組む。

Q 外出しやすい環境整備のため、町は平成18年に交通バリアフリー基本構想を策定。その成果と課題を問う。

A 駅南北自由通路へのエレベーターの設置や駅前広場内の点字ブロックの設置を施工した。バス事業者では、町内を走行する路線バスは全車両が低床型を対応済み。計画目標年度である平成22年度末には、計画全体の約75%を達成した。残りの15%は駅周辺の障害者用案内板、車椅子に乗ったまま車両に乗り込めるような福祉タクシーの導入、駅から町役場までの道路のバリアフリー化の3つである。

Q 県のバリアフリー条例は大型店を表彰するなどして啓発している。町もスロープや手すりをつ

けて入りやすくしているお店に対して、評価し、表彰できないか。

A 町が基準を持っていない以上、表彰は難しい。

Q 百合が丘地区は坂と高齢化で買い物困難。生協も閉店した。中井町井ノ口にディスカウント専門のスーパーマーケットが9月に開店する。町在任の専門家は「統計的に新店舗ができるが既存の店は売上の20%が減少。客足が戻って5%の減少なら何とか店を維持できるが、10%減少では難しい」と言っている。西友やマックスバリュに對しては企業努力を期待するが、そこで行政として側面支援をしてほしい。やれることには限界があるが啓発活動や役場で使う消耗品をこれらの店から調達するなどの支



買い物帰りの人々

援はできないか。

A 商工会や商店連合会と商業が活性化、または利用者が増えるような施策を一緒に考えてサポートしていく。現在大型店舗とは、プレミアム商品券がきっかけで連携ができる体制になっている。(他に地域福祉計画と地域包括ケアシステムの準備について質問)

一般質問



一石 洋子
議員

問

子どもの放課後を豊かな地域の支援で支える取り組みを

答

行政発は安心安全が最優先
町民発の可能性をサポートする

Q 二宮町の保護者運営学童保育では、支援員雇用業務や多様な課題対応の負担が保護者から子育ての時間を奪い、子育てしにくい状況だ。運営主体はミッションを持った町民の団体等に変えるべき。

A 伝統的に町が施設を整備し運営費を補助し、保護者会が運営してきた。当事者として向き合い二宮町にふさわしい学童のあり方を求めていく。

Q 民設民営学童保育事業所に対して国、県、町は補助すべき。

A 現行要綱で補助は1小学校区に1施設。新制度に則り、今後民設民営についても検討する。

Q 国の子ども子育て計画に関わった日本総研の池本美香氏は「人と人の繋がりから、楽しみ、安心、自由を取り戻す鍵を

握っているのは子どもであり、子どもという存在に対し、私達が何をすることに社会の行方がかかっている」と述べている。また海外の子どもの福利に注目したワークライフバランスともいえるべき学校教育を補完する余暇支援について報告している。

二宮町の放課後子ども教室に期待する効果は何か。

A 異年齢交流から自主性や社会性が育まれサポーターの大人側も児童への理解が進み、地域社会が一体となって児童を見守る環境作りとなる。

Q 年4回の頻度と学校施設に集中する放課後対策に疑問を覚える。安全のみを優先せず、子どもを学校のストレスから解放される地域に返すべき。児童館や公園を用いた多様な人々が関わる放



他市の協働による子どもの放課後支援の取り組み

課後子ども教室は。

A 安全対策やサポーターの確保が困難だ。町民発の取り組みをサポートしたい。

Q 人口6千人の岡山県奈義町では約100人の教育支援ボランティアを「できるとき、できることを楽しく」と集め、地域コーディネートが調整する。同様の工夫ができないか。

A 自然遊びを企画する町民団体との連携等、取り組みを拡げていきたい。

県道西友前交差点・横断歩道案

一歩踏み出したもの
安全な横断の実現に向けては課題あり

現在、中里四ツ谷交差点（西友二宮店前）には歩道橋はあるが、中里交差点と二宮高校前の間には県道を横断する歩道がない。このため、足の不自由な方やお年寄りには遠くへ迂回する必要がある。安全な横断施設を求める声が上がっていた。

設置した場合において、交差点での事故増大の可能性が説明された。加えて県道および百合が丘方面からの交通渋滞発生予測、渋滞回避による近隣地区への交通流入予測等が説明され、質疑応答や議論がなされた。

両の通行を赤信号で止める信号。二宮町では、ラディアン前、釜野橋、国道一号线の二宮交差点がこれにあたる。

【安全な施設】
横断歩道について優先して検討したが、他に安全に県道を横断する施設として、歩道橋エレベーター設置、動く歩道などの意見が出されていた。いずれも実現には多くの課題がある。

解説

【歩車分離式信号】

歩行者が青信号で横断している間、全方向の車

意見書を提出した。

その後、大磯警察署は町と現地調査や協議を行い、横断歩道の設置に向けて検討を進めてきた。

今年3月24日、大磯警察署から横断歩道設置案について近隣地区の地区長等および議員に対し検討結果が報告された。通常の歩行者用または歩車分離を想定した信号機を



横断歩道案について解説する大磯警察署交通課の職員

あなたは二宮が好きですか？ ニーノとミーヤに注目



ニーノ



皆さんも町の
宣伝隊になっ
て多くの方に
見てもらいま
せう！携帯
で読み取り動
画をチェック！



ある年代の人は「ヤン坊・マー坊」と聞いて懐かしさを覚えるだろう。今、二宮町を全国に打ち出すのはニーノとミーヤで、二人合わせてニーノ・ミーヤ（二宮）だ。

地方創生が叫ばれる中、町おこし・定住促進キャンペーンが積極的に行われている。国は「全国移住ナビ」をインターネット上に開設、各地からの情報を手軽に見ることが出来る。全国自治体がしのぎを削る中、おりしも80周年を迎えるとき、わが町もその闘いに乗り出し、プロモーション動画を発信。

町の魅力を伝え、住んでみたいと思ってもらうことや、その動画を町内在住・移住者が制作・出演し町の魅力を再発見する、そんな欲張りな企画を町が提案し実現されたもの。

軽快でつい口ずさみたくなる「二宮完全オリジナルソング」と、可愛いニーノとミーヤ（実はたぬき）の作などで活躍中。

企画・制作 東京ハイジ
キッズソングやアニメーションで有名な姉妹ユニット。妹は二宮在住（3女兒のママ）。EテレやCM、絵本製作などで活躍中。「はみがきのうた」はキッズアニメ部門で再生回数が日本一。

キャラクター、そして他の市町村にはない自然と人の魅力が存分に盛り込まれた映像ができた。出演者を身近に感じるのも住むに適当な大きさの我が町ならではの。聴くたびになぜか涙が出るというストーリーにも注目してほしい。



ミーヤ

平塚市・大磯町・二宮町の1市2町で消防指令センターを平塚市役所庁舎内に設置・整備し、消防指令業務を一つに集約する。共同化整備の狙いは、災害時の対応と災害現場活動の強化。

議会では3月議会で平塚市消防署指令室を視察した。平塚市では、緊急の通報が入り次第場所を特定。最も近く・適した緊急車両が配備・手配される運用状況を確認した。

平成29年度4月1日より運用開始をめざし、本年度は整備を進める。



▶平塚市消防庁舎
消防指令室の様子

消防対応の迅速化と効率化を目指し、
進む消防救急無線広域化整備事業！

自分たちの町は 自分たちで守ろう



▲3月6日、消防署と消防団の合同訓練が町役場駐車場で行われました。

新入団員募集中！

「やってみたい消防団。
やって良かった消防団」

編
集
後
記

前号（第158号）の
お詫びと訂正
3ページ（12月補正予算）
高齢者肺炎球菌ワクチン
接種
正…180万円
誤…1800万円
お詫びして訂正いたします。

3月定例会ではゼロからすべての事業を見直し、身の丈にあった合理化策を講じた予算について、評価が分かれました。また、常任委員会で可決・採択されたものの、本会議で否決され、不採択となった議案と陳情がありました。議員としての是非々が表れたものと思えます。

わかりやすくタイムリーな議会だよりを目指して、議会での論点を町民の皆さまにお届けしたいと思えます。

議会だより編集委員会
委員長 二見 泰弘
副委員長 露木 佳代
委員 桑原 英俊
委員 渡辺 訓任
委員 一石 洋子
委員 柳川 駅司